



CONTENTS ●第38回ジャパン建材フェアのご案内…p.1 ●ジャパン建材による提案コーナーをご紹介します…p.2、p.4、p.5 ●トップ対談…p.3
●建設業の働き方改革②建設キャリアアップシステム…p.7 ●今回の聴きどころ「セミナー情報」…折込ページ ●商品情報 ●おかげさまで80YEARS ●合板天気図

どう変わる？
2020年住宅業界

第38回ジャパン建材フェア

住まい方・暮らし方 — ROAD to 2020 —

住まいづくりにおいて大きな転換期となる2020年。「住まい方・暮らし方—ROAD to 2020—」には「2020年に必要となるモノ(商材)やコト(情報)をジャパン建材フェアでお持ち帰りいただき2020年に向かっていこう!」という思い

が込められています。当展示会を通して、2020年以降の住まいと暮らしがどのような変化を迎えていくのか、皆さまと一緒に考え歩んで行きたいと思います。スタッフ一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

8.25 金 9:30am
5:00pm
26 土 9:00am
5:00pm

東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3ホール

特集1

住まい方・暮らし方コーナー

VRなら建てる前に建てられる!?

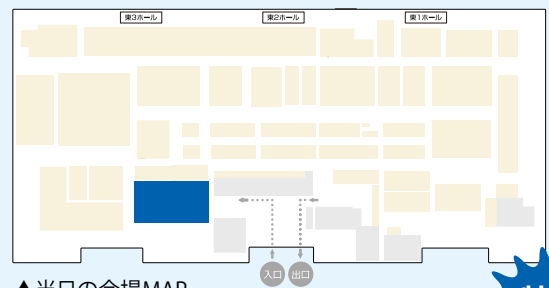
「住まい方・暮らし方コーナー」とは、一人ひとりが想い描く理想の住まいと暮らしについて考えていただく場です。毎回テーマを決めて、住宅における様々な考え方を展示しています。「住まい」と「暮らし」は切り離すことができない存在。ジャパン建材フェアでお買い上げいただく商材(モノ)とともに、住まいづくりに関する情報(コト)をお持ち帰りください。

ここ最近、住宅業界では「VR(仮想現実)」を使った新しい提案方法が注目されています。今まで伝えきれなかった部屋の広さや天井の高さなどを建てる前から体感できるツールとして期待されています。



今回の住まい方・暮らし方コーナーでは、「VR」の効果的な使い方をご紹介します。「VR」を活用することで、住まいづくりはどう変わるのか…。最新ツールの可能性をご提案します。ぜひ、手にとって仮想空間をお楽しみください!

〔協力〕 福井コンピュータアーキテクト株式会社
建築知識ビルダーズ



▲当日の会場MAP

特別
企画

建築家 西方氏の自邸をVRで徹底解剖!

2016年12月に新築した秋田県能代市の自邸。身近にいる大切な人たちの命を守りたい。温熱環境を極めたココロもカラダもあたたかくなる住まいづくりをVRで体感してみませんか?

建築家 西方 里見 氏

1951年秋田県能代市生まれ。'75年室蘭工業大学建築工学科卒業、1975年青野環境設計に組織変更、現在に至る。2008年「サステナブル住宅賞」国土交通大臣賞、「東北建築賞」作品賞受賞(設計チーム木)、「JIA環境建築賞」優秀賞(設計チーム木)ほか受賞。



8月25・26日はジャパン建材フェアへ！ ジャパン建材による提案コーナーをご紹介します



夏の会場 MAP を
大公開！
それぞれの見どころを
要チェック！

1

特価市場

多数のメーカーさまとタッグを
組み、各種建材をお値打ち価格
にて販売しています。



2

J-GREEN

『J-REEN』事業は適切に管理さ
れた森林資源の利用を促進する
ために開始した事業です。

4

木構造コーナー

中大規模木質構造向け工法紹介
等を中心に展示します。『木質
実践セミナー会場』もあります
のでお立ち寄りください。

3

国内・輸入合板 コーナー

クリーンウッド法施行を背景に
合法性・環境性を担保した商品
を各種ラインナップ！

5

木材・プレカット コーナー

日本各地の良材産地からの国産
材・森林認証材などを一挙にご
紹介します。見て触れて、良さ
を感じてみてください。

お知らせ

第38回ジャパン建材フェアより
バーコードを使って動員管理を行
います。

初の試みのため
皆様にはご負担
をおかけすると
存じますが、何
卒宜しく願い
いたします。



※画像はイメージです。

ヨシダ産業 株式会社

【会社概要】
本 社 群馬県伊勢崎市日乃出町 593 番地 3
創 業 1930 (昭和 5) 年
会社設立 1984 (昭和 59) 年
資 本 金 3,000 万円
年 商 21 億 6,800 万円 (平成 28 年度)
従業員数 41 名



代表取締役社長

吉田 雅俊 様

よしだ まさとし

【プロフィール】

1963 (昭和 38) 年 群馬県伊勢崎市生まれ
1985 (昭和 60) 年 中央大学卒業
(株)エイ・エス・ティ入社
(株)アイ・ティ・フロンティア入社
2001 (平成 13) 年 (株)アイ・ティ・フロンティア執行役員に就任
2005 (平成 17) 年 ヨシダ産業株式会社
2008 (平成 20) 年 非常勤取締役に就任
2015 (平成 27) 年 ヨシダ産業株式会社に入社
代表取締役社長に就任



人と技術が生きる価値創造企業を目指す。

木材業からスタート

小川 ご発祥の経緯からお聞かせください。
吉田 会社設立は昭和 59 (1984) 年ですが、創業は昭和 5 (1930) 年です。私の祖父である吉田賢次が、この地で木材業を創業して今年で 87 年になります。

小川 長い歴史がおありなのですね。
戦前は、木材といえば、鉄道の枕木や電柱としての需要が中心だったそうですが。

吉田 はい、当社も、まさにそういう木材業で、製材も手掛けていました。

残念ながら、創業者はカスリーン台風の水害時に市民の方々を安全な場所へ誘導している最中に亡くなりました。急なことでしたので祖母のヤスが引き継ぎ、その後、木場で修業した昭和 10 (1935) 年生まれの私の父、吉田登が事業を継ぎました。登は業容の拡大に尽力しましたが、昭和 57 (1982) 年に 47 歳で他界してしまいます。

小川 私が今 47 歳なのでドキッとしましたが、若くして亡くなられたのですね。

吉田 はい。その後の 2 年間は私の母、武子が代表を務め、昭和 59 (1984) 年、前橋に本社のある一部上場企業の佐田建設株式会社様に経営を引き受けていただき、ヨシダ産業株式会社として再スタートしました。その初代代表取締役が安田時雄氏で、二代目社長が小林節衛現会長です。

IT 企業から転身、事業継承

小川 吉田社長の入社はいつでしたか。
吉田 2 年前の 7 月です。

大学を卒業後、一貫して三菱商事系の IT 企業に席を置いていましたが、2008 (平成 20) 年に当社非常勤取締役に就任しました。株主総会と年 1 回の展示会に出席する程度で、外から見るだけの立場でした。そして 2014 (平成 26) 年、当時は社長だった小林から「事業継承をどうするか」という課題が投げかけられました。

小学校の頃には端材の片づけ、高校時代には、加工場で製造していた心太の突き出し器づくり、大学時代には配送も手伝い、私にとっては幼い頃から身近に感じていた家業でもあり、30 年以上この世界から遠ざかっていましたが、思い切って事業を承継することを決意しました。

小川 異業種からこの世界に入られ、特に感じられたことがありますか。

吉田 前職では、営業、事業開発、マーケティング分野の管理職と、さまざまな経験をさせていただきましたので、知見やノウハウを少しでも役立てたいと考えていました。

IT 業界というバーチャルな世界から、木材・建材流通の世界に入りましたので、初年度は現地現物主義を心掛けました。お客様を訪問し、課題のヒヤリングやマネジメントサイクルの回し方等、現状を把握するための勉強に終始しました。IT 活用という観点ではシステムの刷新を検討しましたが、

費用対効果がないと判断し、自社プレカット CAD のバージョンアップや、在庫管理パッケージの導入など、業務効率化を進めているところです。

小川 確かに、たとえ高額を投じてインフラを進化させても、投資効果を出にくいというのが現状ですね。

部門を越えて横断的に繋げる

小川 現在の売上構成は、いかがですか。

吉田 事業の柱が大きく三本あります。一つは木材・建材・住設・サッシ・プレカットの木建販売で、売上の 67%。もう一つは鋼材部による鉄筋の販売・工事請負が 27%。そして、お客様が受注された工事をサブコンとして受託する建築です。これが売上の 6% を占めます。(平成 28 年度実績)
小川 鋼材部の事業は、総合建設会社出身の方が経営を担ってこられた背景があって始められた、特徴的な事業ですか。

吉田 はい。平成 16 年に鋼材部としてスタートし、事業領域を拡大することができました。また、ユニークな事業として当社が『イノスの家』の代理店になり、会員になっていたいているお客様 5 社への部材供給、支部会・勉強会を行なっています。

小川 『通気 WB 工法』にも取り組んでいらっしゃるんですね。

吉田 はい。小林会長が、社長就任時に「社業五原則」を掲げました。その内容は、

- 一、全社員営業精神の原則にたて
- 二、技術企業の原則にたて
- 三、企業による社会的使命の原則にたて
- 四、節約の原則にたて
- 五、経済の原則にたて

というものです。これに基づいて現場担当者が挑戦してきたことが、当社の今日に繋がっていると思います。

小川 吉田社長から社内の皆様に発信しているメッセージはどのようなものですか。

吉田 私は、「競争力の源泉は人と技術」だと思っています。常に社員に言っているのは、お客様にいろいろな価値を提供しているんじゃないか、その価値を創造しているんじゃないか、と言っています。

小川 具体的に「人」が生きてとは、どういうことを指しているのですか。

吉田 社員の仕事は全てお客様への貢献に結びついているという意識をもって取り組むことが大切、ということです。

例えば配送担当は、単に物を運ぶだけでなく、現場監督とも積極的にコミュニケーションをとり、その話の内容を、営業だけでなく、特に、お客様の声が届きにくい社内勤務の出荷や、プレカット工場にも伝え、社内連携すること。さらに、さまざまな会議や毎月 1 回の誕生会を利用して、社内の横の繋がりを強化し、常にお客様を向いて仕事をしていくことが大切だと話しています。

小川 誕生会は、どのような会ですか。

吉田 これは私が始めたもので、勤務先が分かれている、本社、前橋営業所 (鋼材部)、

建築部から部門横断的に誕生月の社員を集めて昼食会を開いています。こうした取り組みが効を奏して社内の風通しが良くなり、情報伝達もしやすくなってきたと実感しています。

小川 部署を越えたコミュニケーションは、私も、非常に大事だと思っていて、本社勤務の社員を営業所訪問させ、face to face の交流を深める気運を高めています。吉田社長も「人」が、社内の情報伝達で大きな役割を担っているというお考えですね。

吉田 実は、前職ではメールが標準で顔を合わせなくても仕事はできましたが、現在はメールより face to face で会話するケースがほとんどです。

小川 情報伝達が瞬時にできるメールは便利な文明の利器ではありますが、思いを伝えて共通認識を構築するには、やはり膝突き合わせて対話するのが一番ですね。

もう一つの「技術」を生かすとは、具体的にどんなことですか。

吉田 特に自社プレカットが当社の付加価値部分という意識を強くもっています。



お客様から評価をいただいているのは、特に複雑な設計図面から伏図を作成する際、実際の納まりを考慮して設計図との齟齬を指摘し、解決案を提示している点です。

工場長は大工経験があって専門知識・技術をもっている人物で、特に納まりを意識するよう CAD 課の社員にアドバイスしています。これが、当社のプレカットが信頼されることに繋がっていると思います。そういう「技術」を各社員みんなで身に付ける努力をしてもらいたい、と考えています。

さらに手加工が必要になる部分についても、社内にいる大工経験者からの技術継承に努めていくことが、当社の存在意義ではないかと思っています。

小川 プレカットを手掛けることは、建材販売を追従させられ、商売のイニシアチブを取る武器になります。ヨシダ産業様では大工監修のプレカットに手加工を加え、現場感のあるプレカットができることを大きな強みとされている、ということですね。

お客様の後方支援に徹する！

小川 2030 年には新設住宅着工数が 50 万戸時代を迎えると言われていますが、私は、我々の業界は新築住宅着工戸数だけでは測れるものではない、あまりにも新築着工戸数だけに翻弄されすぎてはいけないのではないか、とも思っています。

今後に向けた吉田社長のビジョンをお聞

かせいただけますか。

吉田 当社のビジネスは B to B がベースなので、お客様の受注活動をご支援することが肝要と考えています。現在、各種補助金の申請業務等のお手伝いをしていますが、2020 年に義務化される改正省エネ基準を見据えた ZEH に取り組んでいただけるようご支援したいと思います。

ただ、受注支援と一口に申し上げても多岐にわたり、その全てを社内対応するのは限界がありますので、JK サポートセンター様のお力添えもいただける環境を整備しながら、お客様支援の体制づくりを進めています。

小川 ジャパン建材のコアは木建であり、木材・建材流通を担う皆様と役割分担して、ハードとソフトの両面から地場の大工・工務店様に地元の住まいづくりで存分に施工力を発揮していただきたいと考えていますので、JK サポートセンターも、おおいにご利用ください。

吉田 もう一つの今後の方向性としては、6.2 兆円規模の市場で推移すると見られているリフォームへの取り組みがあります。当社は、競合の激しい水廻りとは目線を変え、窓や玄関など外から見える開口部のリフォームをご提案しています。

さらに、耐震改修の観点から 1981 (昭和 56) 年以前に建てられた家をどのような形でリフォームするのが望ましいか、というところまで踏み込んだリノベーションのご提案などにも、お客様と連携して取り組みたいと思います。

加えて、グループホームの木造・木質化に取り組んでいらっしゃるお客様もいらっしゃいますので、耐火集成材や CLT 等を活用した中・大規模の非住宅を提案してまいります。

小川 これからの成長分野である、既存住宅の優良化への働きかけと、中・大規模非住宅の木質化にしっかりと取り組んでいかれるお考えですね。

吉田 はい。ところで、ジャパン建材様の全国のお客様は、どのような方向性で進んでいらっしゃるのでしょうか。

小川 ヨシダ産業様と合致した方向性で、お客様それぞれが強みをもって、そこを切り口に積極的に攻めていらっしゃいます。

もう一つ、今後の住宅業界に求められる大事な能力になると思われるのが、住宅ストックの優良化する際に不可欠な「インスペクション (検査)」です。今後の事業化の可能性も秘めている分野でもあると思いますので、これを積極的に働きかけられるように JK サポートセンターを整備して再構築する必要もあると思っています。

ヨシダ産業様のように地元に根ざして積極的にお客様支援に進もうとされている方々を、木建ルートのジャパン建材はもちろんですが、JKHD グループ企業と連携を図りながら非住宅の木質化等でも後方支援させていただければと思います。今後ともご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

第38回ジャパン建材フェア 住まいづくりサポートコーナー

住まいづくりにおける様々なテーマを題材にセミナーや展示、各業界の出展企業による相談会を行っています。

point 1 一般住宅と

ゼロ・エネルギー住宅の比較

断熱手法比較やサッシ・省エネ機器等を体感できるコーナーです。



point 2

長期優良住宅化リフォームの提案

長期優良住宅化リフォームで求められる耐震・制震手法や、商材を実大構造を用いて提案します。



point 3

家づくりに役立つ住まいづくりサポートセミナー

今後の住宅のあり方、建築にあたってのポイント、役立つツールなど、知っておきたい情報が満載です。



住まいづくりサポートセミナー

8月25日(金)・8月26日(土)
各セミナー 約30分

詳細は折込ページをご参照ください。

point 4

各出展企業による相談コーナー

住宅ローン、地盤調査、瑕疵保険、アフターメンテナンス等さまざまなテーマで相談会を実施しております。



住宅関連相談コーナー出展企業 (12社)

●: 地盤調査 ●: 金融 ●: アフターメンテナンス ●: 瑕疵保険 ●: CAD ●: 新企画

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ● 在住ビジネス (株) | ● JIO (株) 日本住宅保証検査機構 |
| ● ジオテック (株) | ● 住宅保証機構 (株) |
| ● (株) ハウス・デポ・パートナーズ | ● ハウスプラス住宅保証 (株) |
| ● (独) 住宅金融支援機構 | ● (株) CPU |
| ● LLP 日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合 | ● 福井コンピュータ (株) |
| ● 日本リビング保証 (株) | ● NPO 法人ママの働き方応援隊 |



住まいづくりサポートコーナー

出展
企業

クイズラリー

家づくりの流れに沿って、住まいづくりサポートコーナーのブースを回ってください。参加者さまには景品をご用意しておりますのでぜひご参加ください！



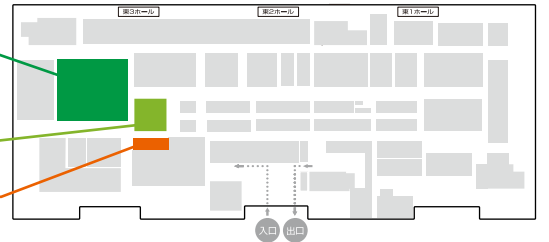
特集3 Bulls コーナー

新商品や当日限りの特価品、毎年恒例の実演コーナーなど役立つ商品や企画を取り揃えてご提案いたします。ご来場の際は、是非お越しください。

Bulls コーナー

住まいづくりサポートコーナー

エコプレミアムコーナー



ブルズパック

当日限り、売り切れ御免の大特価

恒例となった大好評企画も前回と異なったアイテムを取り揃えてお迎えします。ご使用シーンに合わせた「パックプラン」とお好きなものをお選びいただける「セレクトプラン」をご用意しています。



特価コーナー

LED 照明などが驚きの価格で

LED 照明を中心に価格にこだわった当日限定の特価コーナーです。数量限定で特別価格にてご提供いたします。只今、売れ筋商品から選定中ですので当日までお待ち下さい。LED で明るく光ったタワーが目印です。



職人さんコーナー

おしゃれなアイテム揃えています

デザイン性の高い安全靴やヘルメットをご紹介します。職人さんが毎日身につけるものになりますので、前回からアイテムを追加してお待ちしております。



Demonstration コーナー

今回の注目アイテムが登場

新商品や省施工品をローテーションで実演します。商品展示だけでは分かりにくい特徴も 10 分で丸わかり。明日からの営業、施工にお役立ていただけます。



ガーデンエクステリア

暮らしに安らぎを

デザイン×機能性で心地よい空間をご提案いたします。デッキだけでは寂しさを感じる庭まわりにも、アクセントを加えてくれるパーツやガーデンファニチャーをご紹介します。



シマウマコレクション

お施主様が求める収納とは

ママたちの声から生まれた「省スペースしっかり収納」をご提案いたします。適切に区切られていて、無駄なくスペースを使い切ることで見やすく使いやすい収納を実現します。



特集4 エコプレミアムコーナー

これからは、電気を蓄える時代へ

オムロン社新製品の電池ユニットを展示します。コストを抑えて後付したい需要にお薦めです。ぜひ世界最小・最軽量クラスのコンパクト設計の蓄電池をご覧ください。さらにニーズに合わせておススメの太陽光もご紹介いたします。



2019 年以降順次、太陽光発電の固定買取制度期間が満了となります。
この機会にぜひご相談ください。

準耐火 30 分、45 分（軒裏）業界最薄 8mmを実現 国土交通大臣認定を受けた NBL 不燃建材

エヌビーエル株式会社

NBL
エヌビーエル
http://www.nbl-asnon.co.jp



アスノン



エンボスカラー

国土交通大臣の認定を受けている不燃建材。耐火性に優れた【スラグせっこう板】『アスノン』は、軒天材として唯一 8mm から準耐火 30 分（軒裏）及び、準耐火 45 分（軒裏）に対応。また多くのメーカーの軒天防火換気材と適合しておりデザインに合わせ選びやすくなっています。

【業界最薄の 8mm】

- ・準耐火 30 分、45 分（軒裏）業界最薄 8mm を実現。
- ・耐火性に優れたエヌビーエル only one の売れ筋商品です。
- ・薄型化を実現することで、軽量化（作業効率アップ）とコストダウンを提案します。

【さまざまな用途を実現】

- ・軒裏、内壁、天井、ベランダ FRP 防水下地【飛び火認定対応】など、さまざまな用途に使えます。

【エコマーク認定商品】

- ・環境に配慮した『アスノン』の製造には再生材料を 87% 使用。エコマーク認定製品です。
- ・副産物である「高炉水砕スラグ」と「回収副生せっこう」を主な原料とする、リサイクル型の製品。

【ノンアスベスト商品】

- ・アスベストをまったく含まない、健康に配慮した製品です。
- ・一般住宅はもちろん、オフィスや学校、病院にも利用でき、万一火災にあっても煙や有毒ガスを発生しませんので安心して使っていただけます。

【多彩なラインナップ】

- ・15 種類（3 柄×各 5 カラー）の豊富なカラーバリエーション。『アスノン』を基材とした耐火性に優れた塗装品【化粧スラグせっこう板】エンボスカラー

シリーズ追加カラー好評発売中。

- ・新商品エンボスカラー木目調シリーズが加わりました。
- ・準耐火対応の有孔板も軒裏 30 分、45 分品をご用意しています。

完成度の高いデザインで提案できる壁面収納・リビング OV シリーズ

株式会社 パモウナ

住宅やライフスタイルに馴染むように、色やタイプ、サイズバリエーションが豊富。造りつけたようなテレビボードが完成度の高いデザインで提案できます。



【高い品質・デザイン・機能性】

品質、デザイン、機能性の高い家具を造り続けてきた家具製造メーカーのパモウナの製品。前面、側面外側に業界トップクラスの光沢性の高いシートを独自開発して採用しています。

- ・使い方に合わせて、ユニット（箱）を組んで完成させる簡単設計。
- ・高さや幅をオーダーするアイテムを揃え、造りつけたように設えることも可能です。
- ・テレビまわり特有の煩雑な配線を見えないようにスッキリと処理できる構造になっています。
- ・色は濃い木目柄（スタイリッシュモダン）のクラッシーオーク色と柔らかい色調（ソフトモダンスタイル）のシルキーアッシュ色。

株式会社ハウス・デポ・ジャパン



www.heart-system.org

詳しくは、コチラ



ハウス・デポ・パートナーズは
家づくりを住宅ローンと各種保険で応援します。

【フラット35】Sのご案内

【フラット35】Sとは【フラット35】を申込みのお客様が、省エネルギー性・耐震性等、質の高い住宅を取得する場合に、借入金利を一定期間引き下げる制度です。

平成30年3月31日までの申込受付分に適用（※）

金利引下げプラン	金利引下げ期間	金利引下げ幅	金利引下げ幅
【フラット35】S （金利Aプラン）	当初 10 年間	平成29年9月30日 以前の申込受付分 年▲0.3%	平成29年10月1日 以降の申込受付分 年▲0.25%
【フラット35】S （金利Bプラン）	当初 5 年間	平成29年9月30日 以前の申込受付分 年▲0.3%	平成29年10月1日 以降の申込受付分 年▲0.25%

※【フラット35】Sには予算金額があり、予算金額に達する見込みとなった場合は受付を終了させていただきます。

お問合せ・お申込みは……

【三井物産・JKホールディングスグループ企業】

株式会社 ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル：0120 - 887 - 800

Mail: hdp@housedepot-p.co.jp

担当：営業部 尾崎、伊東、北野、荒谷、伊坂、村田

貸金業登録番号 関東財務局長(1)第01508号

日本貸金業協会会員 第005893号



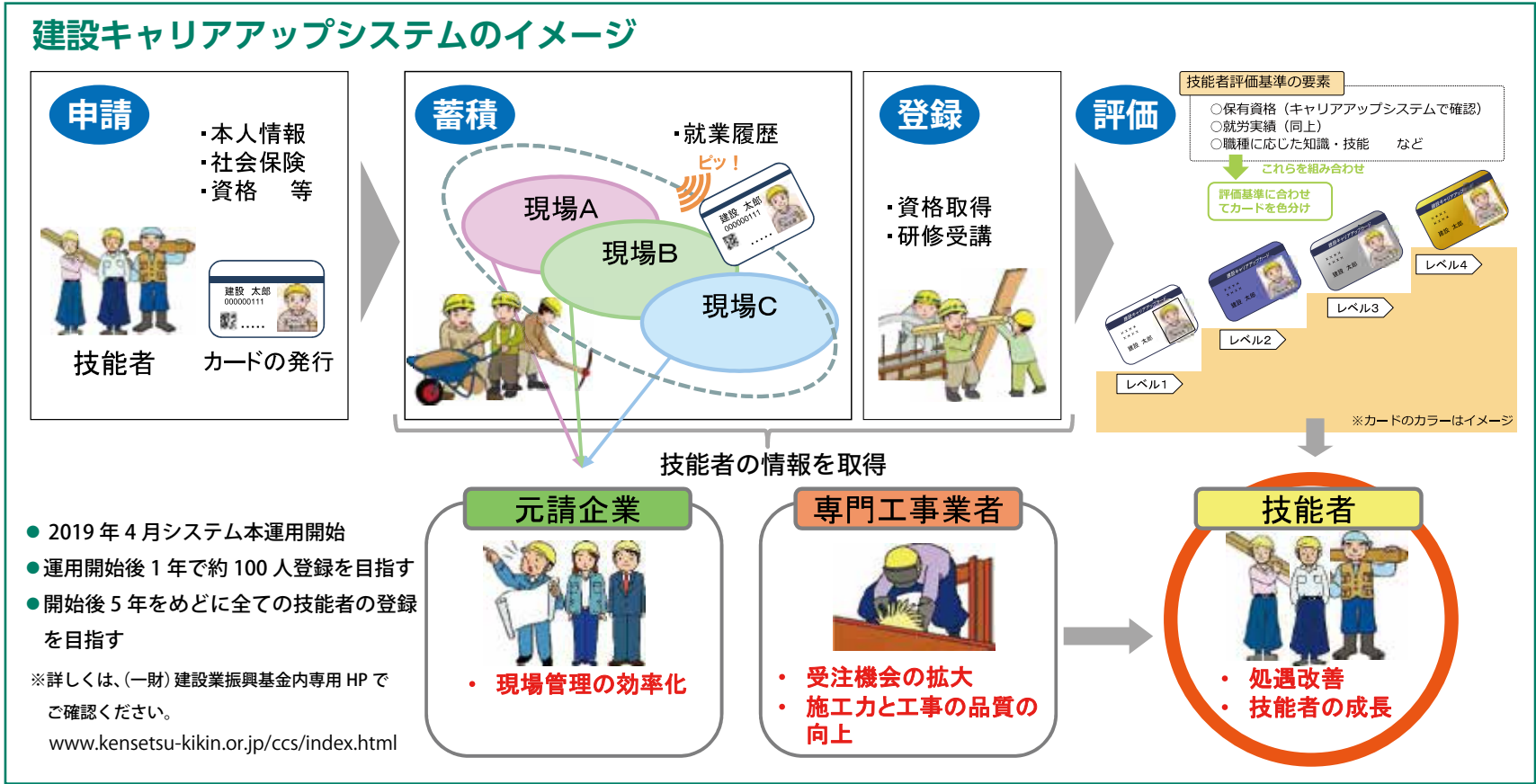
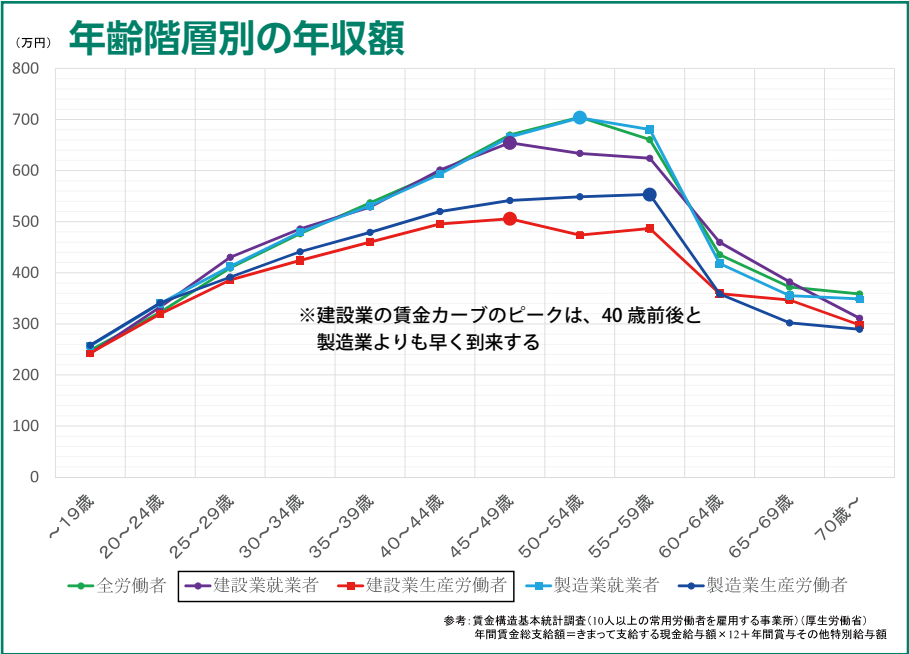
建設業の働き方改革 ②

建設キャリアアップシステム

キャリアアップシステムが目指すもの

建設キャリアアップシステムは、技能者ひとり一人の就労実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場の効率化などにつなげるシステムです。

現在建設業に従事している60歳以上の技能者は、およそ80万人。30歳未満は36万人になります。建設業への新規入職者数は、この20年でピーク時の約半分になりました（H7：7.8万人→H27：4.0万人）。建設業における若者の入職を進めるためには、他産業に比べ将来的な処遇についても魅力的な産業であることを示す必要があります。そのためにも業界全体で技能者の就業実績を蓄積し、処遇の改善や技能の研鑽を生み出す基本的なインフラを業界全体で整備することが求められます。





木遣り

おかげさまで

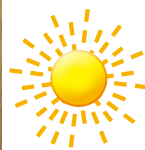
80

YEARS



「木遣り」とは木を遣り渡す（運ぶ）という意味です。機械がない時代、重い岩や大木などの運搬には多くの人の力が必要とされました。全員の力を結集する方法として、一人の号令にあわせながら重いものを運搬するという方法が一般的でした。この号令の役目となったのが、木遣り唄といわれています。元来、建築そのものが慶事であったことから、木遣り唄もめでたい歌として歌われました。

ジャパン建材では伝統を引き継ぎ、各イベントにて若手社員が木遣りを披露します。その試みは、今年で12年目を迎えました。第38回ジャパン建材フェアの開場式でも披露いたします。フレッシュな若手社員の力強い木遣り唄を、是非お楽しみください。



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2017年5月度の新設住宅着工数は78,481戸（前年同月比0.3%減）で3カ月ぶりの減少となった。その内、木造住宅については44,761戸（同比4.6%増）で17カ月連続前年から増加となった。季節調整済年率換算値は99.8万戸で前月比0.6%減少となった。

利用関係別では持家が23,846戸（前年同月比1.5%増）で2カ月連続増加となり、貸家は32,956戸（同比1.6%増）で19カ月連続増加、分譲は21,347戸（同比3.9%減）で先月の増加から再びの減少に転じた。分譲の内訳はマンションが9,823戸（同比12.6%減）と再びの減少となり、戸建ては11,287戸（同比4.5%増）で19カ月連続増加と好調を維持している。

建築工法別ではプレハブが11,148戸（同比0.2%増）で2カ月連続増加、2×4は9,636戸（同比2.4%増）で4カ月ぶりの増加となっている。

国内合板

5月の国内合板生産量は25.5万㎡（前月比96.5%、前年同月比106.8%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は24.3万㎡（同比96.3%、108.3%）となり、出荷量は24.0万㎡（同比95.4%、103.0%）となった。出荷量は前年と比較しても好調を維持し、在荷量は9.8万㎡で出荷量の0.4

カ月分しかなく依然低水準であることに変化ない。

国内針葉樹合板は高水準の出荷が続いている。品薄感は地域差があるが、増産体制は維持されると思われる。8月以降も好調な着工数を背景に、国内針葉樹は堅調な状況が続く、商品も更に不足感が出てくると思われる為、先行きの仕事状況の把握と早目の玉確保をすることをお勧めしたい。

輸入合板

5月度入荷量は25.8万㎡（前月比110.1%、前年同月比111.0%）となった。国別では12mm品中心のマレーシアからの入荷量が10.2万㎡で前月比106.6%と増加。インドネシアからの入荷も8.2万㎡と増加の結果となった。

輸入合板については、現地価格の上昇や入港遅れで今後流通在庫は少ない状況が続くと思われる。原木供給に不安が出てきており、価格的に強気姿勢を崩すことは考えにくく、先行き仕事が見えている分は早めに手配し、玉を確保する事が肝要と考える。今後も価格が上昇傾向であることは頭に入れておきたい。

9月以降も国内合板、輸入合板共に入手困難な状況で晴れの状態が続くと思われる。どちらも早め早めに手配していききたい。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 営業推進部

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711（代） FAX:03-5534-3855（代）
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>

ジャパン 建材 フェア

出展メーカー200社以上!!

住宅建材総合展示即売会

38th

特価市場開催!

おかげさまで、第38回 (通算80回)

2017.8.25 金 9:30^{am} / 26 土 9:00^{am}
5:00^{pm} 5:00^{pm}

東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3ホール

住まい方・暮らし方

— Road to 2020 —



主催:  ジャパン建材株式会社 協賛: ジャパン建材会 ブルズ会 JK合板会 ブルズ木材会

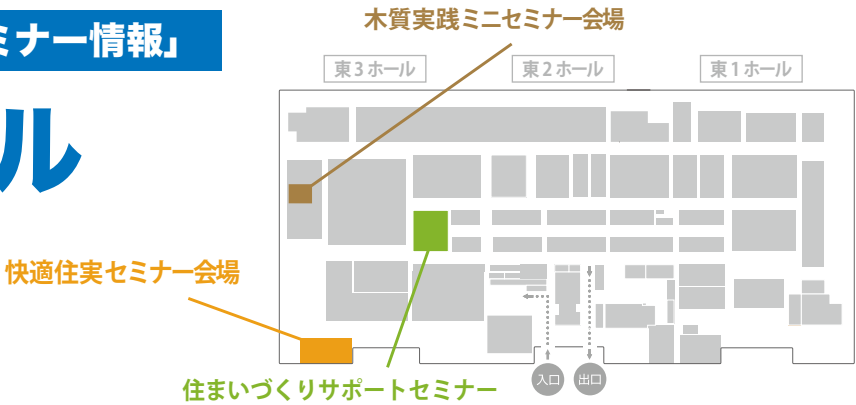


ジャパン建材株式会社は地球環境の保全につとめています。
ISO14001の認証を全営業所で取得しています。



セミナー スケジュール

セミナーの内容は、都合により変更になる場合もあります。



◆ 快適住実セミナー

8月25日（金）	タイトル	講演企業	講師
11：00～12：00	「売れる工務店＆リフォーム会社のポスティング術」	反響塾 地域集客プロデューサー	望月 まもる 氏
12：30～13：30	住宅業界の風雲児が実践する『いいすまいづくり』ノウハウ	株式会社 4D GROUNDWORK	塚本 光輝 氏
14：00～15：30	「ママ目線で住宅業界を勝ち残る！」 ～『快適住実の家』新企画 地域のママをファンにする工務店経営～	NPO 法人 ママの働き方応援隊	恵 夕喜子 氏
8月26日（土）	タイトル	講演企業	講師
11：00～12：00	「省エネ改修ビジネスのすすめ」	株式会社 日本エネルギー機関	中谷 哲郎 氏
12：30～13：30	VRを活用した施主の心を掴むこれからのプレゼンテーション	福井コンピュータアーキテクト株式会社	山本 剛史 氏
14：00～15：30	「ママ目線で住宅業界を勝ち残る！」 ～『快適住実の家』新企画 地域のママをファンにする工務店経営～	NPO 法人 ママの働き方応援隊	恵 夕喜子 氏

◆ 木質実践ミニセミナー

＊各回 30 分程度で予定しております。

8月25日（金）	タイトル	講演企業	講師
11：00	SGEC 森林認証の PEFC との国際化と オリンピックに向けた地域の盛り上がり	一般社団法人 緑の循環認証会議	認証部長 瀬川 宗生 氏
12：00	住宅業界が取り組む非住宅木造建築 パート 2	木構造テラス	木構造テラス代表 實成 康治 氏
13：00	使ってみよう CLT	一般社団法人 日本 CLT 協会	CLT 協会 業務推進部
8月26日（土）	タイトル	講演企業	講師
10：00	FSC® 森林認証セミナー	F S C ジャパン	FSC ジャパン事務局
11：00	住宅業界が取り組む非住宅木造建築 パート 2	木構造テラス	木構造テラス代表 實成 康治 氏
12：00	使ってみよう CLT	一般社団法人 日本 CLT 協会	CLT 協会 業務推進部

◆ 住まいづくりサポートセミナー

8/25（金）、26（土）ともに同時間同セミナー

＊各回 30 分程度で予定しております。

	タイトル	講演企業
10：00	国の補助金制度はどうなる？ 新築・リフォーム市場の「これから」を徹底解説！！	JK サポートセンター
10：30	東京オリンピック後の安定受注に向けた 3 つのポイント	ハウスプラス住宅保証株式会社
11：00	不等沈下した建物の修正方法	ジオテック株式会社
11：30	あいまいな予算提案してませんか？ ～営業に活かせる地盤サポート！！～	在住ビジネス株式会社
12：00	耐震等級の表示によるメリットと活用方法 ～安心できる家～	株式会社 日本住宅保証検査機構
12：30	かし保険事故事例からみる防水対策	住宅保証機構
13：00	賢い住宅ローン選び！！	株式会社 ハウス・デポ・パートナーズ
13：30 (60 分)	躍進工務店に聞く受注獲得のポイント	JK サポートセンター
14：30	ママ目線工務店づくりセミナー	NPO 法人 ママの働き方応援隊
15：00	ARCHITREND VR ～住宅プレゼンは「見る」から「体感する」へ～	福井コンピュータ株式会社
15：30	アフターサービス強化による「生涯顧客化」戦略	日本リビング保証株式会社
16：00	これで楽々、新築引き渡し後のお施主様との接点継続！ ～新築防蟻でアフター点検～	LLP 日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合